

別記様式

議 事 録

会議の名称	令和3年度第2回岩倉市行政評価委員会
開催日時	令和3年10月5日(火) 午前9時から午前11時5分まで
開催場所	岩倉市役所7階第2・3委員会室
出席者 (欠席委員・説明者)	出席委員：千頭委員長、小松副委員長、川中委員、池山委員、松浦委員、村上委員、三輪委員、水野委員、吉田委員、清水委員 事務局：総務部長、秘書企画課長、商工農政課長、秘書企画課企画政策グループ長、広報広聴グループ長 欠席委員：なし
会議の議題	(1) 第4次総合計画施策評価(令和2年度施策)について (2) 新たな行政評価制度について (3) その他
議事録の作成方法	<input checked="" type="checkbox"/> 要点筆記 <input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> その他
記載内容の確認方法	<input checked="" type="checkbox"/> 会議の委員長の確認を得ている <input type="checkbox"/> 出席した委員全員の確認を得ている <input type="checkbox"/> その他()
会議に提出された資料の名称	【資料1】第4次岩倉市総合計画に基づく行政評価制度概要 【資料2】令和2年度施策評価結果の総括 【資料3】第4次岩倉市総合計画基本施策評価シート(令和2年度実施施策)「交通対策」、「観光・交流」、「広報・広聴」の3シート 【資料4】新たな行政評価制度の方針について ・参考資料：第4次総合計画基本計画(抜粋)、令和2年度主要施策成果報告書他 ・第5次岩倉市総合計画(本冊) ・岩倉市行政改革行動計画
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開
傍聴者数	0人
その他の事項	

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

1 開会

2 議事

(1) 第4次総合計画施策評価（令和2年度施策）について

資料1、2について事務局より説明

委員：資料2は2次評価の結果ということで良いか。

事務局：そのとおり。1次評価を2次評価で必要があれば上書きしており、その結果である。

委員：評価は感覚的なものになるのか。数字はどうなるのか。

事務局：1次評価は、担当課が評価し、2次評価で市全体のバランスを見て総合的に評価をするが、基準が定まっている訳ではないので、感覚的な評価と言わざるを得ない。

委員長：我々が関わる岩倉市の評価制度は、事業仕分けではなく、総合計画の進行管理であり、どうしたら良くなるのかを一緒に考え、改善して評価を上げていくものと理解している。皆さんにも協力して欲しい。

資料3 交通対策について担当課長から説明

委員：具体的な内容について、道路の名称など記載されているが、一般的な市民にはわからない標記が多く、評価が難しい。その都度説明してもらえるのか。

事務局：なるべく、わかりやすい形で説明したい。必要があれば資料も用意するが、時間的な問題もある。

委員長：私も全て把握している訳ではない。全てを理解して評価するのは難しい。どこかで線は引いて評価せざるを得ないこともある。

委員：小学校にスロープやトイレのブース、多目的トイレを設置したとあるが、現状がわからない。他の小学校は設置されているのか。

事務局：こうした設備は、必要とする児童が入学する場合などに、必要に応じて対応しており、全ての小中学校に整備しているものではない。

委員：理解しました。

委員長：そういう指摘は重要であり、どんどん意見して欲しい。

事務局：この書き方ではその辺までわからないので市内で○校目など、市民が見ても理解しやすい記載に努めたい。

委員：路線バスの本数を指標としているが、民間企業が決定するものであり、適切な評価はできない。満足度は良いと思うが、実績がない。

事務局：ご指摘のとおりであり、そうしたこともあり、第5次総合計画では、市民の満足度のみを指標とした。

満足度などの指標となっているアンケートは平成30年度に実施しており、シートの構成

上、記載がない。こうしたところも工夫したいと考えている。

副委員長：これらは成果指標と結果に対しての評価である。バランスの取れた記載が必要で、全体の中での進捗などもわかると良い。プロセスからわかる課題もあり、出来たら終わり、OKということではない。そうした課題も見える化していくことも必要と考える。

資料3 観光・交流について担当課長から説明

委員：基本成果指標の観光・交流の振興についての満足度について、H29の数値が高い。何か理由はあるのか。

担当課長：特に把握できていない。

委員長：難しいかもしれないが、分析は可能。性別、年齢別に見ることで差があり、分析から見えてくるものもあるので、可能な範囲で努力して欲しい。

委員：基本施策の実施状況・成果では、施策がめざす将来の姿に対する評価となっていない。単位施策の成果がまとめられているだけ。めざす将来の姿、目標に対してどうだったかを書いてほしい。

事務局：基本施策単位のシートにしたのが、H26年度施策の評価から。全体の目標を意識しながら施策に取り組むためにシートを改善してきた。

施策がめざす将来の姿は、状態であり、そこを補完するのが、基本成果指標となる。

次回、新シートを提示するので、そこで議論していただきたい。

委員長：私も気になっていた部分である。課によって記載はバラバラなのか。

事務局：現在は、単位施策の評価を記載するルールとしている。

委員：桜まつりの観光客数は、市外からの来訪者に限定されているか。

担当課長：分けしておらず、人の数でカウントしている。感覚的には、中国籍の方も多く外国の方にも来訪していただけていると思う。

委員：人数の差は、どうして生まれるのか。

担当課長：桜の開花期間に直結している。まつりの期間は10日間と決まっており、令和元年度が多いが、まつりの期間中天候も良く、見頃の期間が長かったことが要因。

委員長：桜の修繕として、植え替えができたことは素晴らしいこと。市民の力もあって実現できたこと。

事務局：流域市町村と市民活動団体の長年の思いが叶ったと考えている。

副委員長：継続性があるのかどうか。不可抗力的な要素で評価はしないほうが良い。

事務局：新しいことができたかどうかという視点は必要と考える。

資料3 広報・広聴について担当課長から説明

委員：区長から意見を聴取したとがあるが、一般市民に知らせるべき課題があった場合に広報に載せるといった仕組みはあるか。

担当課：現状はない。

事務局：区長から聞いた内容を庁内に展開し、それぞれの課で対応し、その結果を区長に報告している。その他は把握していない。

委員：指標数値の分析欄でアンケート未実施とあるが、記載を工夫するべきではないか。

事務局：アンケートを実施していないため、そのことを記載すべきか検討する

委員長：広報の多言語対応はどのようなか。

担当課：対応できておらず、ホームページの翻訳機能などが中心。

委員長：SNSを活用できると良いのでは。

(2) 新たな行政評価制度について

資料4に基づき事務局から説明

委員長：次回の会議で詳細の内容が出てくるので、今回の評価とこの方針案をもとに色々と皆さんにご意見をいただきたい。

事務局：次回の会議を踏まえて決定していく。

(3) その他

事務局より、行政改革行動計画の策定経過を説明

3 その他

次回日程（10月28日（木））について報告。